



SOS 見守りネットワーク連絡会報 第 27 号

「認知症とともに生きる 希望宣言」 が表明されました

日本認知症本人ワーキンググループ（J DWG）は、11月1日、厚生労働省内で記者会見を行い、「認知症とともに生きる希望宣言」を表明しました。

「認知症とともに生きる希望宣言」の内容は下記のとおりです。

私たちは、認知症とともに暮らしています。

日々いろいろなことが起き、不安や心配はつきないが、いろいろな可能性があることが見えてきました。

一度きりしかない自分の人生をあきらめないで、希望を持って自分らしく暮らし続けたい。

次に続く人たちが、暗いトンネルに迷い込まずにもっと楽に、いい人生を送って欲しい。

お問い合わせ 連絡会事務局

郡山市地域包括ケア推進課

電話：924-3561

メールアドレス：

hokatucare@city.koriyama.fukushima.jp

※会報は定期発行しています。

※加盟団体数 105（11月8日時点）

認知症高齢者声かけ訓練を開催しました

10月18日に五百淵公園を会場に、久留米・名倉地区合同の「認知症高齢者声かけ訓練」を開催しました。久留米町会連合会、名倉町会や久留米地区民生児童委員協議会などの地区組織の方々に参加いただき、認知症の人が行方不明になった場合を想定し、「声かけ」を行い、認知症の人と接する際の配慮について学ぶ訓練でした。開催結果の報告については、第2回認知症高齢者 SOS 見守りネットワーク連絡会議にて行います。



認知症の方が安心して暮らせるまちづくり連携協定を締結しました

郡山市では、認知症の早期発見・早期治療への取組み等、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域の良い環境で、自分らしく暮らし続けることができる地域づくりの一環として、10月23日にエーザイ株式会社と「認知症の方が安心して暮らせるまちづくり連携協定」を締結しました。

なお、同日、エーザイ株式会社は郡山医師会、郡山歯科医師会、郡山薬剤師会とも連携協定を締結しました。

郡山市消費生活センターからのお知らせ 架空請求の相談が全国的に急増しています！

全国の架空請求に関する相談はH28年度は約8万件でしたが、H29年度は約18万件で2倍以上急増しています。「未納料金を支払わないと訴訟手続きを開始すると書かれたハガキが届いた」といった相談も多く、中には情報保護シールが貼られたハガキの報告例もあります。①未納料金を請求されても相手に連絡をしない。②コンビニに行くように指示されても応じない。ということが重要になります。不安を感じたり対処に困ったりした場合には下記の連絡先か、消費者ホットライン「188（いやや!）」番にお電話ください。

郡山市消費生活センター 電話：921-0333

